

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越谷西特別支援学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の目指す方向が明確かつ的確に示されている学校像である。学校の置かれた状況や課題を把握した上で、特別支援教育の趣旨や特性などを踏まえた適切なものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	今年度重点目標が見直され、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。目指す学校像を踏まえ、取り組むべき課題が明確に示されており、「小・中・高の系統性を意識したキャリア教育」など、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学部のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。分掌・学部間の連携を一層密に行い、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を更に促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、分掌等のシートが作成され、方策が実施されている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとしては、やや抽象的である。教職員間で達成イメージを共有できるような具体的で分かりやすい評価指標を設定して、取組を検証することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長のリーダーシップが的確に発揮され、分掌・学部等が全体の目標を理解した上で、小学部から高等部までの12年間を見通したキャリア教育を目指すなど、連携しながら全校を挙げて取り組んでいる。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者等を対象としたアンケートを評価運営委員会で検討・分析するなど、評価項目の達成状況を検証し、次年度への課題と改善策を示している。年度評価・学校関係者評価を次年度の目標や方策等に適切に引き継ぎ、課題の解決に向けてPDCAを意識しながら組織的に取り組んでいる。	
特記事項			